

学生諸君へのお願い

地球工学科長

地球工学科では、学生諸君により良い授業を提供するため、本学科が提供している学部科目全てにおいて授業評価アンケートを実施して学生職君の意見を聞くことになりました。

アンケートは、各科目の最終講義の終了時または定期試験の終了時に実施される予定ですが、科目毎に毎回同じ質問票を配布するのは紙資源の無駄使いであるため、このたび、履修登録者数の多い科目で質問票を事前配布することにしました。

つきましては、学生諸君には、このアンケート質問票を常に鞆に入れておくなどして毎日持参し、いつでもアンケートに答えられるようにして下さい。

また、科目によっては、地球工学科のアンケートとは別に、高等教育研究開発推進センターが全学規模で実施しているアンケートもありますが、それについても協力するようにして下さい。

以上

アンケートの回答はマークシート方式で行います。マーク例を下に示しますので参考にして下さい。

年 組	番 号	名 前	地球工学基礎数理 (T1)	月 日	マークはHBを使用して下さい。
10	100	10	1	1	1
8	3	0	5	0	0
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

科目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

正解

配点

選択カード①

京都大学地球工学科 授業評価アンケート

(注 1) この授業評価アンケートは地球工学科が提供する全ての科目を対象としています。質問票は同一ですので毎回配布しません。講義及び試験時は本票を持参するようにして下さい。

(注 2) 回答は、鉛筆あるいはシャープペンシル(ボールペン不可)を用いてマークシートにマークして下さい。

(注 3) 下の例に倣って「名前」欄に、科目名(クラス, 班)(クラス分け, 班分けにより担当教員が異なる科目の場合)を記入してください。

例:

名 前	地球工学基礎数理 (T1)
-----	---------------

名 前	土質力学 及び演習 (A 班)
-----	-----------------

(注 4) 自分の入学年(元号)の下一桁をマークシート先頭の「年」の欄にマークして下さい。

(注 5) 科目コード番号(5桁)をマークシートの「組」と「番号」両方の欄 5桁分を使って左詰めでマークして下さい。

(注 6) 科目名に記載したクラス(班)を下記の例にならってマークシートの「科目」欄にマークして下さい。

例: T1 [英], T2 [国], T3 [数], T4 [理]
A 班 [英], B 班 [国], C 班 [数], D 班 [理],
1 班 [英], 2 班 [国], 3 班 [数], 4 班 [理],

(注 7) 以下の質問に対して次の 5 段階で評価し、評価値(1~5)をマークシートの質問番号に一致する番号欄にマークして下さい。

- [1] いいえ
- [2] どちらかといえば「いいえ」
- [3] どちらともいえない
- [4] どちらかといえば「はい」
- [5] はい

1. 共通の質問は、以下の(1)~(10)です。

- (1) あなたはこの授業に十分に出席しましたか?
- (2) あなたはこの科目のシラバスを読み、その内容について知っていましたか?
- (3) 教員はシラバスに沿って授業の達成目標を明確に示しましたか?
- (4) あなたは予習復習をするなどして上記の目標を達成するための努力をしましたか?
- (5) あなたはその目標を達成することができたと思いますか?
- (6) 教員は講義や教材に工夫をこらすなどの努力をしていましたか?
- (7) 授業はわかりやすかったですか?
- (8) この授業の内容はシラバスに記載の内容と一致していましたか?
- (9) この授業で学んだことはあなたの将来の役に立つと思いますか?
- (10) この科目あるいはその関連分野が好きになりましたか?

2. 科目独自の質問

アンケート時に科目独自の質問が提示された場合は、マークシートの 11 番の欄から順に、評価値(1~5)をマークして下さい。

3. 自由な意見, コメント

その他の意見がある場合にはマークシートの裏面に記載してください。なお、複数教員が担当する講義で個別の教員に対しての意見がある場合も裏面に記載してください。この自由意見は、来年度以降によりよい講義を提供するために、担当教員が材料として利用します。